

St.George ← 揖斐川町 国際交流



▲さよならパーティーでの集合写真

揖斐川町とアメリカ合衆国ユタ州セントジョージ市は1989年から互いの町のマラソン大会を通じて国際交流を深めています。

1998年からはマラソン交流に加え、中学生交流も行っています。今年の様子をお届けします。

セントジョージ ↓ 揖斐川町
11月5日(水)～11月10日(月)

セントジョージマラソンの成績優秀ランナーや地元の中学生など総勢30名が派遣団として訪れました。今年にはマラソン交流34回目の年であり、セントジョージ市職員のロバート・マイヤーズさんが派遣団の団長を務められました。ランナーとして出場した7名は全員完走されました。

揖斐川町滞在中は、町内のホームステイ先のお宅で日本文化に触れ、日本の生活を満喫されました。また、中学生派遣団の皆さんは、北和中学校との交流会にて、生徒同士の交流を深めていました。

揖斐川町 ↓ セントジョージ

10月1日(水)～10月8日(水)

いびがわマラソン2024で優秀な成績を収められたランナーの皆さんがセントジョージ市を訪れ、2025セントジョージマラソンに出場されました。

ランナーの皆さんからの報告書を掲載します(一部抜粋)。

総合男子優秀ランナー 西川 朋秀さん

ハーフマラソンに出場しましたが、自己ベストを3分以上更新し、総合第3位といった想定を上回る結果を残すことができた大変嬉しいと思います。ともに出場した他の3名も全員自己ベストを更新でき、皆で喜びを分かち合うことができた大会となりました。今回のマラソン派遣を通じてより高みを目指していきたいと強く思いましたのでこれからも練習に励んでいきたいと思えます。このような貴重な体験ができたのは歴史ある揖斐川町とセントジョージ市のマラソンを通じて交流のおかげです。感謝するとともにこれからもマラソンを通じて交流を続けていきたいと思います。



総合女子優秀ランナー 小田 恵梨さん

私にとってホームステイは初体験。言葉の壁はありましたが、伝えようとする気持ちと日々交流を重ねることで、言葉の壁を感じる事もなく家族の一員として充実した時間を過ごすことができました。

日本では見ることでできない赤い岩や谷に囲まれた広大な自然に満ちた圧巻のコース、この景色を見ながら走れるのは最初で最後かもしれない...と思いつ、一歩一歩を大事にゴールを目



指し、入賞する事ができました。この先もホストファミリーや現地の姉妹都市関係者との、心のこもった温かい交流が続きますように。

町内男子優秀ランナー 石原 幹男さん

昨年いびがわハーフマラソンに初エントリーした結果、町内上位入賞となり、周囲の後押しで派遣参加を決めました。そして最高の目標であったサブスリーを達成しました。初のアメリカでのホームステイという環境も不安ではありませんでしたが、リラックスできる環境を整えてくださり、普段味わえない素晴らしい経験の数々を提供いただき、とても充実した時間を過ごしました。セントジョージの方々の温かさで感謝です。



町内女子優秀ランナー 岡田 魅奈さん

ホームステイ先では、同年代のご夫妻と子育ての「あるある」を共有し、子どもたちとは、トランプや折り紙などで楽しく交流しました。レースでは、「みんなが待っている」という思いだけを支えに前へ進み、結果は自己ベストを大幅に更新する3時間15分35秒でゴール。この記録は、応援してくださった方々協力してくれる家族、そして一緒に練習してくれる仲間の支えがあったからこそ達成できたものです。この派遣での出会いと経験は、私にとってかけがえのない宝物です。



中高生は来年1月にセントジョージ市を訪れます！

中学生・高校生海外派遣事業 派遣認定書交付式

9月25日(木)、揖斐川町役場で令和7年度中学生・高校生海外派遣事業派遣認定書交付式が行われました。この事業は、マラソン交流を続けているアメリカ合衆国ユタ州セントジョージ市に、町の将来を担う中学生と高校生を派遣し、現地の人々との交流を通じて、文化や歴史などを学び、国際性豊かな人材の育成を図ることを目的として行われています。今年度の派遣は、第26回目となります。

今回派遣される22名の生徒は、町長から派遣認定書を手渡され、研修への意気込みを語りました。

なお、派遣期間は、来年1月15日(木)から23日(金)までです。



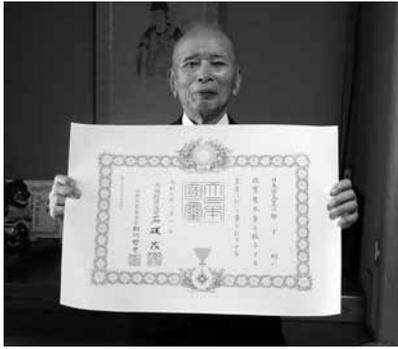
▲派遣認定書を受け取る生徒

瑞宝双光章受章

このたび、学校教育の振興に貢献された功績が認められ、野下明さん（三輪）が瑞宝双光章を受章され、岡部町長より伝達が行われました。

野下明さんは、昭和37年に坂内村立坂内小学校の教諭として赴任され、坂内中学校、大野町立の小学校、岐阜養護学校等の教諭を歴任されました。平成3年から大野町立南小学校教頭を務められてから、平成5年に藤橋村立藤橋小・中学校の校長に就任されました。平成8年からは、大野町立中小学校の校長を務められ、平成10年3月に定年退職されました。その後は、平成10年4月から平成14年3月まで、揖斐川町立揖斐川幼稚園の園長を務められました。

長年にわたり学校教育の推進に尽力されたこれらの功績が認められ、今回の受章となりました。栄えある受章おめでとうございます。これからもお元気で過ごしてください。



▲野下 明さん

瑞宝双光章受章・叙位

令和7年5月11日に亡くなられた所昭敏さん（名礼）が、瑞宝双光章を受章および従六位に叙され、岡部町長よりご家族へ伝達が行われました。

所昭敏さんは、昭和38年4月に武芸川村立博愛中学校の教諭として赴任され、その後横蔵中学校、谷汲中学校、長瀬小学校、揖斐川中学校など、揖斐川町の小中学校教諭を歴任されました。平成元年から大野町立小学校、東小学校で教頭を務められてから、平成6年に武芸川町立寺尾小学校の校長に就任されました。平成9年から、谷汲村立長瀬小学校の校長を務められ、平成12年3月に定年退職されるまで、揖斐川町の学校教育の充実に力を尽くされました。

これらの生前の功績が認められ、今回の受章となりました。多大な功績に対し敬意を表しますとともに、心からご冥福をお祈りします。



▲授与された勲記と勲章

水道施設を美しく「清掃奉仕作業」

10月10日（金）、揖斐川町内の水道工事店12社が、町内の水道施設の清掃奉仕作業を行いました。

毎年行われているこの奉仕作業、早朝からお昼まで、水道施設やその周辺の草刈を中心に清掃を行いました。秋晴れの下、皆さんの協力によって施設および周辺はきれいに除草され、見違えるようになりました。清掃奉仕作業に参加された皆さん、ありがとうございました。



▲清掃の様子

企業立地に関する協定を締結しました

10月31日（金）、揖斐川町役場にて、自然応用科学株式会社（名古屋市）と揖斐川町において企業立地に関する協定を締結しました。

締結式では、堀田博泰代表取締役社長と岡部町長が調印し、堀田社長は「地域の魅力、可能性を引き出す事業を続けたい」と話されました。同社は、令和8年4月末より揖斐川町谷汲徳積地内において、飲料水を製造する工場を稼働する予定です。



▲協定締結の様子
自然応用科学株式会社 堀田代表取締役社長（右）